

**東急グループの渋谷まちづくり戦略 “Greater SHIBUYA 2.0” を策定**  
 ～「働く」「遊ぶ」「暮らす」が融合した「渋谷型都市ライフ」の実現により、持続性のある街を目指します～

 東急株式会社  
 東急不動産株式会社

東急株式会社および東急不動産株式会社(以下、「両社」)は、渋谷駅周辺・広域渋谷圏のエリアにおいて、東急グループならではの社会価値提供による、「働く」「遊ぶ」「暮らす」が融合した持続性のある街を目指し、渋谷まちづくり戦略“Greater SHIBUYA 2.0”を策定しました。

東急グループは、これまで「エンタテインメントシティSHIBUYA」と「広域渋谷圏(Greater SHIBUYA)構想」の2つのビジョン(以下、「Greater SHIBUYA 1.0」)を掲げ、渋谷駅周辺における再開発プロジェクトや、官民一体で組成した「渋谷駅前エリアマネジメント」の活動、地域イベントへの参画・協力など、さまざまな分野において関係者と協力して、街の課題解決と価値向上に取り組んできました。

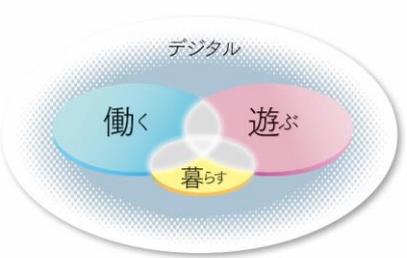
昨今、人口動態の変化やテクノロジーの深化に伴い、消費や移動などの行動様式が変わりつつあります。また、自然災害や資源・エネルギーの逼迫、感染症など、環境問題や新たな社会課題への関心が高まっています。そうした新しい社会のニーズに適応した街づくりを進めるため「Greater SHIBUYA 1.0」を継続しつつ、さらに進化・深化させた新戦略“Greater SHIBUYA 2.0”にて、渋谷をさらに魅力ある街にするため、具体的な施策を推進します。

概要は以下の通りです。

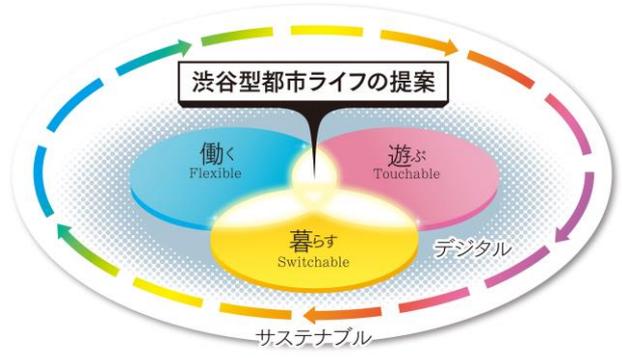
**■東急グループの渋谷まちづくり戦略 “Greater SHIBUYA 2.0”の概要**

「Greater SHIBUYA 1.0」では、新しいビジネスの創出や、さまざまなエンタテインメントの集積、世界の人々を常に惹きつける街を目指して開発推進しました。“Greater SHIBUYA 2.0”では、これまで掲げてきたビジョン「Greater SHIBUYA 1.0」をより強化していくことに加え、「暮らす」要素により着目し、「働く」「遊ぶ」「暮らす」の3要素の融合と、その基盤となる「デジタル」「サステナブル」に取り組むことで、相乗効果を生み出し、渋谷でしか体験できない「渋谷型都市ライフ」の実現を目指していきます。

**Greater SHIBUYA 1.0**



**Greater SHIBUYA 2.0**



また、両社は、渋谷駅周辺・広域渋谷圏のエリアにおいて、街全体の価値向上に向けた施策検討にあたり戦略委員会を、2021年内に発足させる予定です。なお、職住遊の機能に加え、国際医療施設やサービスアパートメント、子育て支援施設を導入予定の「渋谷駅桜丘口地区」(2023年度竣工予定)や、オフィス機能に加え歩行者ネットワークや広場空間の拡充など、街のにぎわい創出を目指す「渋谷二丁目17地区」(2024年度竣工予定)、渋谷区と連携した区内を拠点に活動する「スタートアップの支援」などを推進していきます。

今後も、東急グループ一体となって、上記の再開発プロジェクトに加え、“Greater SHIBUYA 2.0”をもとに、渋谷駅周辺の大規模な動線改良や、広場の整備・活用など、さらなる駅の利便性や街の回遊性の向上を推進するとともに、渋谷駅前エリアマネジメントを中心とした公民連携・街ぐるみの取り組みを継続的に実施することで、エリアの魅力を高める街づくりを進めます。

各開発計画の詳細については、今後、逐次発表します。

本リリースに関する詳細は別紙のとおりです。

以上